

2004/04/15 19:00～ 第1回まちづくり委員会第2ステージ 概要

出席委員	31名	
座長	岡部 誠一郎	
オブザーバー	西伯町・会見町合併協議会会長	坂本 昭文
	西伯町・会見町合併協議会副会長	三鴨 英輔
	西伯町・会見町合併協議会委員	森岡 幹雄
出席職員	西伯町・会見町合併協議会事務局	野間田 憲昭
	同	加藤 節雄
	同	奥山 俊二
	同	桐林 正彦
	同	岡田 厚美
	同	米原 稔晃
	同	前田 智恵子

第1回会議では、両町長の挨拶の後、これまでのまちづくり委員会の経過、運営の方式について事務局から説明をした後、今後の会議の運営について意見を出し合っていました。

次回からは小委員会ごとに話し合いを行っていきます。

事務局への質疑

- ・ 今回のまちづくり委員会での提言範囲は分かりませんが、合併協定書では税金の取扱い、合併浄化槽の取扱いについて決定していない。

身近な例ですが、西伯町では前納報奨金が廃止され、納税組合への補助も半減しました。下水道は山間地では合併浄化槽での対応となりました。

合併浄化槽の入札について、安ければ良いというようなものになっているような部分もあると聞いている。高性能な浄化槽というが、各メーカーで機能差がある。条例によって規制を設けるか、理事者が提案して議決を得るか2通りのがあると思う。

また、先発している下水処理場の機能が分からない。上流で処理容量を越す汚水が流れた場合は意味がないのでは。

提言の有効性が分からないので、明確にしてほしい。

(事務局) 合併浄化槽については、以前は性能が低く、西伯町では石井式で推奨しており、補助金の上乗せなどで推奨してきました。

近年は合併浄化槽の性能が上がり、5ppmをクリアするものが多く出ています。

現在は規制を設けずに合併処理浄化槽を東長田、上長田、落合、鴨部などで進めています。

補助についても切り替えを行い、どの家庭でも31万の負担金を頂き、町が浄化槽を設置するというものです。

浄化槽方式への切り替えは、浄化槽のレベルが上がってきているためです。

大まかな基準については法によって定めがあり、町は指導という形で 10ppm の範囲でお願いをしています。

前納報奨金については、行財政の厳しい状況により、予算編成が困難だったため、こういった取扱いをさせて頂きました。

このまちづくり委員会で決定したことや、提言が簡単に変更されるようでは意味がないということは理解できます。できるだけ決定を尊重したいが、全部を採用するという訳にはいきません。結果については微調整なども含めご理解を頂きたい。

大枠については尊重したいと思います。

- ・ 前納報奨金については他自治体でも同様の動きがあった。西伯町の滞納額は大きなものですが、行政努力で解消できるものだと聞きました。前納報奨金による地域の努力などで収納率が上がるのも事実です。今後のまちづくり委員会で検討したいと思います。

会議の運営についての意見

- ・ 会議の方式や内容を全て委員が決定していくのは民主的で良い手法だが、時間が限られており、前回のように要望のみが出て行くような状態になってしまう。町章や町歌などは 10 月 1 日には決定しておいた方が良い。決定すべきものと、オープンに審議していくものを事務局からあらかじめ分けて提案してほしい。
- ・ 41 人が一同に介して行うのか、小委員会方式にするのか決定していただきたい。
- ・ 最初に小委員会で原案をつくり、最後に全体会でまとめをしたい。前回も委員会ごとに話し合いを行ったが、別の委員会には意見があっても参加できず、纏められたものを見てはじめてこういったことを話し合っていたのかと思いました。別の委員会の日程も集約し、意見があれば別委員会への参加もフリーとしたい。
- ・ 小委員会で原案をつくり、前提で話し合い提言をまとめる方式が良いが、前は小委員会での出席率が低く、細くなればなるほど少人数での話し合いになってしまうのではと心配しています。
- ・ 話し合いの議題がまだ頭がない状態です。ある程度話し合いの課題を執行部から提出頂いて、何を話し合いするかを頭に入れた状態で話し合いの方式を決めたほうが良いのでは。
- ・ 自主性が主旨ならば、テーマを出しあって、それによって小委員会方式などを決定した方が良いと思います。現在参加されている委員さんはそれぞれ思いを持って参加をされていると思う。行政の思いは別として、委員のみなさんの思いを主題としていきたい。
行政からの課題提示は好ましくない。
- ・ 前回参加しましたが、一緒なことの繰り返しになるのでは。纏まった提言にならないのではないかなと思う。新町発足への具体的な提案であるならば、テーマを絞るべき。
- ・ 建設計画を元に戻すような意見を出す場ではない。話し合いのテーマについては今日決定した方がよい。小委員会方式には賛成します。

Q&A の例文の中の住民参画には 2 種類ある。地域の意見を反映していく地域審議会等の長期的なもの、シンボルマークなどの一過性のものがあり、一体感醸成など住民主体となる事業を加えて 3 つに分けることができます。

この 3 つに分けて話し合いを行えるのではないのでしょうか。

- ・ テーマの絞りは良いと思う。もう1つ行政評価システムというテーマを追加してほしい。
- ・ Q&Aでの想定テーマは全て基本的にやらなくてはならない問題です。人数も多くないので、2つ位の分けて良いと思う。町章などの基本的なもの、団体の統合などのもの。
これだけは是非やらなくてはならないものを整理して、2つ程度の委員会とするのが丁度良いのでは。
- ・ 進め方とテーマがごっちゃになっている。まず進め方を決めては。
- ・ 考え方として、何分割にするかはテーマによって決めていけば良い。
- ・ テーマは小委員会で決めてはどうでしょうか。
- ・ 単なる希望意見の出し合いなら全体会で良いが、具体的な方策を出すなら小委員会方式が良い。
だからこそ行政から意見を出してほしい。
- ・ 小委員会で基礎をつくり、全体会で決定するが良い。前は他部会の意見が全く見えなかった。
意見として多かった小委員会で基礎を決め、全体会で決定する

開催回数について

- ・ 尻尾の全体会2回程度を決定して、後は小委員会の自主性に任すべきなのは。
- ・ 出席率が悪いので、ある程度決めておいたほうが良いのでは。
- ・ 小委員会に任せるべき。
- ・ 当面次回の開催について、まだ小委員会には分けられないと思いますので、次回テーマを決定してはどうでしょうか。
- ・ 時間に区切りがあります。委員となったからには出席すべき。3つか4つの小委員会で早くやってしまうべきです。2つだと20名前後となり、話が纏まりにくい。職場等での経験から、10名前後で決定して、全体で纏めるのがベターだと思う。
テーマについてはQ&Aの例題におおよそ集約されています。
- ・ 何回全体で集まっても一緒なこと。今日テーマを決めるべき。
- ・ Q&Aにテーマがいくつか上がっていますが、網羅されていますでしょうか。
- ・ テーマがいくつか上がっているが、絞り込んでいきたい。具体的でないと言言ができません。過程を決めるだけだと思いますが、今は漠然とし過ぎている。
- ・ 私はもっと広い範囲なのではと思っていますが、事務局に伺いたい、個々のテーマなのか、新町全体のいろいろな分野、範囲の広いものなのか。いろいろなものを出してもらいたいということでよろしいのでしょうか。
(事務局)まちづくり計画が1つの土台。あまり広いととても間に合わないと思います。新町発足後にはこのまちづくり委員会を核として住民参加型の町をつくっていただきたいと思っています。次に繋げるものとしてほしい。
概ねQ&A5番に挙がっているものを勉強する機会として捉えていただければどうかと思っています。
- ・ 町章などはまちづくり委員会などで決定すべきことではありません。表面的なものを纏めるならば、委員として出席するようなものではない。
町章などはこういった委員会でもできます。よし悪しを言うだけならばここでなくても出来ること。こういったものに時間を割くべきでない。

- ・ そうではなくて、小委員会の中で、町章の決定を専門家に任せるのか、公募をするのか、どれをどうやって選ぶのかを小委員会で決定していくというもの。何分野かに絞って話し合いを行っていく。
 - ・ 今日のところは3つの小委員会に分かれるというのは。
 - ・ 小委員会の割り振りの決定はどのように。人数に偏りがあってはまずいし、好き嫌いがあっても良くない。
 - ・ 前回同様の希望制、単純に現在の着席順、アイウエオ順など様々なものが考えられます。
 - ・ 思いがあって参加しているので、それを優先したい。希望を最優先すべき。
 - ・ 人数に偏りが出る可能性があります。
 - ・ 偏ってしまった場合はそうなった時に割り振りすべき。まず分割数を決めてから。
 - ・ 長期、短期の区分ですが、町章などは短期でよろしいか。
 - ・ そういうことではないでしょうか。
 - ・ 町章などは素人が決定するには馴染まない。議会とだぶる形になってしまうのでは。
 - ・ まず町章やシンボルが必要なのかということも決めていくもの。当面差し迫っているものとそうでないものを分けては。
 - ・ 協定書を読んだが、内容的には大体決まっている。新町発足後は分からないが、協定書で決まっていな部分は限られています。おのずとテーマは決まってくる。長期、短期などの分け方は馴染まない。
 - ・ きりがない
 - ・ 私のイメージでは、短期というのは合併時、合併後すぐに必要となるもの、長期は長期計画を捉えていると考えられます。協定書の個々の項目をどうこうでなく、この部分はこういった住民参画で決めていくということを提案していくというのでどうでしょう。
- (事務局) 基本的にはそういった方向で行っていただきたいと思っています。
- ・ 事務局にも要望があると思う。期限が限られてることであり、率直に要望を出していただきたい。
 - ・ 自主的な決定というのが主旨なのでは。
 - ・ あくまでネタとして資料を出してもらえば良いのでは。
 - ・ 住民参画というのが非常に問われている。これを一番の課題としていただきたいと思います。
- 基本的に3つのテーマ分けで、どの委員会に参加したいかの取りまとめは事務局にお願いする。
今後の日程については、次回開催日を決め、以降は小委員会に任せる。

次回の開催についての意見

- ・ 早めの4月中が良い。来週の後半が良い。
- ・ まず平日開催か休日開催かどちらが良いか。
- ・ 平日が良い。
- ・ 次回から小委員会の話し合いを始めるで良いでしょうか。
- ・ 全体会を最初に行い、その後小委員会に分かれるというので良いでしょうか。

次回開催は4月28日午後7時から、会見町総合福祉センター

全体会を開いた後、小委員会で話し合いを行う。